

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 臨時報告書 |
| 【提出先】 | 中国財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年5月14日 |
| 【会社名】 | 株式会社自重堂 |
| 【英訳名】 | JICHODO Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 出原 正貴 |
| 【本店の所在の場所】 | 広島県福山市新市町大字戸手16番地の2 |
| 【電話番号】 | 0847(51)8111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役業務本部本部長 谷口 郁志 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 広島県福山市新市町大字戸手16番地の2 |
| 【電話番号】 | 0847(51)8111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役業務本部本部長 谷口 郁志 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社自重堂東京支店 (東京都港区海岸三丁目3番15号) 株式会社自重堂大阪支店 (大阪府中央区南船場二丁目5番23号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

—

1【提出理由】

当社及び当社グループ（当社及び連結子会社）の財政状態及び経営成績に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、提出するものであります。

2【報告内容】

（1）当該事象の発生日

平成25年3月31日

（2）当該事象の内容

輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っている為替予約取引について、平成25年6月期第3四半期において時価評価を行ったことによるデリバティブ評価益を計上する必要が生じたものであります。

（3）当該事象の損益に与える影響

当該事象により、平成25年6月期第3四半期累計期間（自平成24年7月1日至平成25年3月31日）において、連結、単体それぞれ、下記のとおり営業外収益としてデリバティブ評価益を計上いたします。

連結：1,099百万円

単体：921百万円

なお、当社は四半期におけるデリバティブの評価方法に洗替法を採用しており、平成25年6月期第2四半期累計期間（自平成24年7月1日至平成24年12月31日）におけるデリバティブ評価益の総額として、連結588百万円、単体534百万円を計上しております。従って平成25年6月期第3四半期会計期間（自平成25年1月1日至平成25年3月31日）のデリバティブ評価益の総額は、連結511百万円、単体387百万円であります。

以上